

# **Unitech Scanner Utility V1.3.x.x**

## **ユーザー マニュアル**

## 改訂履歴

Version	発行日	改訂履歴
1.0	2021年8月20日	● USU V1.3 向け初版リリース

## 本マニュアルについて

本マニュアルは、Unitech Scanner Utility（以下、USU と略す場合があります）V1.3.x.x のユーザーを対象としています。Unitech Scanner Utility V1.3.x.x は、主に 2 つの機能で構成されています。

- スキャナの接続や設定を行うメイン GUI（グラフィカル・ユーザー・インターフェイス）
- システム開発者がスキャナからの接続機能、設定機能、データ取得機能を統合するための API

本マニュアルでは、Unitech Scanner Utility の GUI 部分について説明し、Unitech Scanner Utility が提供する API については、別途「Unitech\_Bluetooth\_Service\_API\_Programming\_Guide」というプログラミングガイドで説明します。

# 目次

第 1 章	はじめに	6
1.1	主要機能	6
1.2	サポートするデバイス	7
第 2 章	初期設定	8
2.1	権限の許可	8
2.2	画面オーバーレイの有効化	9
2.3	Bluetooth アドレスのセットアップ	10
2.4	Bluetooth デバイスの検出許可	11
2.5	SU Keyboard のセットアップ	12
2.6	スキャナとのクイックペアリング	13
第 3 章	ホーム画面とスキャナの情報	14
第 4 章	アプリケーションメニュー	15
4.1	Scan Test	15
4.2	Scanner Configurations	15
4.3	Application Settings	15
4.4	Label Formatting	15
4.5	Export/Import the Settings	16
4.6	Upload/Download the Settings	16
4.7	Reset All Settings	16
4.8	Quick Settings Chart	16
4.9	Application Information	16
4.10	Exit	16
第 5 章	Scan Test	17
第 6 章	Scanner Configuration	18
第 7 章	Application Settings	19
7.1	Application Settings	20
7.2	Mobile Receive Data Settings	20
7.3	Data Ack Settings	21
7.4	Data Intent Settings	21
第 8 章	Label Formatting	23
8.1	Encoding	23
8.2	Data Editing	23
第 9 章	Export/Import the Settings	38
第 10 章	Upload/Download the Settings	39
第 11 章	Reset All Settings	40
第 12 章	Quick Settings Chart	41
12.1	Scanner Type	41
12.2	Un-Pair	42
12.3	Factory Default	42

第 13 章 Unitech SU Keyboard.....	43
第 14 章 WD200 での初期設定.....	44
14.1 Unitech Scanner Utility の更新.....	44
14.2 Unitech SU Keyboard を有効化 .....	44
14.3 Unitech SU Keyboard をデフォルトにセット .....	44

# 第 1 章 はじめに

Unitech Scanner Utility (以下、USU) は、ユニテック Bluetooth® スキャナの接続、設定、使用をサポートする Android アプリケーションです。スキャナによってスキャンされたデータは、Bluetooth® 通信によって USU へ送信され、USU からキーボードデータとして他のアプリケーションに再送信されます。USU は、Android 6.0 以上を搭載したユニテックブランドの Android デバイス、またはユニテックブランドではない Android デバイスの両方にインストールして実行することができます。

## 1.1 主要機能

Unitech Scanner Utility の主な機能は以下の通りです。

### ■ クイックペアリング

スキャナとペアリングするために、Bluetooth のペアリング設定を操作する必要はありません。ユニテックの Bluetooth スキャナと Android デバイスをペアリングするには、USU の画面に表示されるクイックペアリングバーコードをスキャンし、いくつかのダイアログメッセージに回答するだけで、ペアリング処理が完了します。ペアリングされたスキャナは、他のスキャナをペアリングするまで、Android デバイスと関連付けられます。

### ■ スキャナ情報の確認

接続されているスキャナの詳細を一目で確認できます。情報には、シリアル番号、ファームウェアバージョン、バッテリーの状態、名前や MAC アドレスなどの Bluetooth 情報が含まれます。

### ■ スキャナの設定

スキャナの設定やファームウェアの更新を行うことができます。また、設定内容をファイルにエクスポートして、USU を搭載した別の Android デバイスにインポートすることもできます。

### ■ スキャンデータの複数の出力方法

USU は、接続されたスキャナでスキャンしたバーコードデータのさまざまな出力方法をサポートします。USU は、スキャンしたデータをキーストローク（キーエミュレーション）、クリップボード貼り付け（コピー&ペースト）として出力できるほか、オプションで Android Intent Data としても出力できます。

### ■ 正規表現によるラベルフォーマット

USU は、基本的なラベルフォーマットオプションと高度なラベルフォーマットオプションの両方をサポートしています。ラベルフォーマットは、接続されたスキャナで読み取ったバーコードデータを、ユーザーアプリケーションに出力する前に処理（文字の追加、削除、抽出、置換など）します。基本的なラベルフォーマットでは、スキャンしたバーコードデータに付加するプリフィックス、サフィックス、ターミネーターの文字（列）を指定することができ、高度なラベルフォーマットでは、バーコードの種類ごとに正規表現やアクションによる後処理のルールを指定することができます。高度なラベルフォーマット機能は、多様なデータ編集の要求を満たすことができる便利なツールです。

## ■ ダブルバイト文字対応のキーボード「Unitech SU Keyboard」をサポート

Unitech SU Keyboard は、USU のさまざまなキーボード機能を強化させたエンタープライズキーボードです。文字、数字、記号、絵文字などの専用キーボードページや、画面上のスキャンボタンにより、より快適なタイピングを実現します。また、UTF-8、BIG5、GBK、Shift\_JIS でエンコードされた全角文字の出力にも対応しています。

## ■ 自動設定

自動設定機能とは、Android 端末とスキャナをペアリングした際に、スキャナの設定を指定した設定ファイルと同期させる機能です。この機能により、接続されたすべてのスキャナが、企業の IT 管理者によって承認された適切な設定を持つことができます。

## ■ 指定アプリの自動実行

USU は、スキャナがクイックペアリングされるたびに、Android デバイス上のアプリケーションを自動的に起動するように設定することができます。これにより、スキャナを Android デバイスにペアリングして接続した直後に、ユーザーは作業用アプリですぐに作業を開始することができます。

## ■ アプリケーション統合のための API

開発者は、API を利用して USU の機能を自社のビジネスアプリに統合することができます。サンプルアプリケーション（名称：BTScanner）は、ソースコードとプログラミングガイドとともに無償で提供され、開発者の API 連携の学習をサポートします。

## 1.2 サポートするデバイス

Unitech Scanner Utility V1.3.x.x は、次のユニテック Bluetooth スキャナモデルに対応しています。

- MS652-2UDB00-SG（ファームウェアバージョン 1.47 以上）。

Unitech Scanner Utility V1.3.x.x は、次の Android デバイスに対応しています。

- Android 6 以上が搭載されたユニテックブランドの Android デバイス
- Android 6 以上が搭載されたユニテックブランド以外の Android デバイス

USU は、一部のユニテック製品のファームウェア OS にも組み込まれています。

- WD200（Android 10）

## 第 2 章 初期設定

Unitech Scanner Utility を初めて起動する際に、権限、Bluetooth アドレス、SU Keyboard 機能など、USU の初期設定を行う必要があります。

次の順序で初期設定を行ってください。一部のデバイス上では表示される順番が異なる場合があります。

### 2.1 権限の許可

USU は、Android デバイス上のファイルを読み書きするために、ユーザーから権限の許可を取得する必要があります。この許可により、USU は設定ファイルのインポートおよびエクスポートなどが可能になります。ダイアログメッセージが表示されたら、「許可」をタッチしてください。

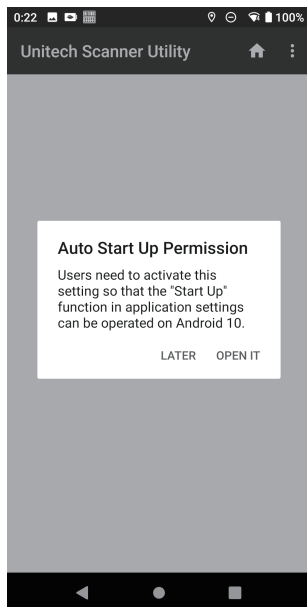


「許可」をタッチ

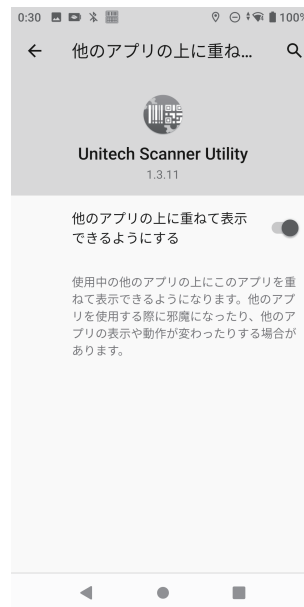
## 2.2 画面オーバーレイの有効化

✎ Android 10 以前の OS を使用している場合、この手順はスキップすることができます。

Android 10 で「Application Settings」の「Start Up」機能を利用するためには、この設定を有効にする必要があります。ダイアログメッセージが表示されたら「OPEN IT」をタッチし、「他のアプリの上に重ねて表示できるようにする」をオンにしてください。その後、バックキーなどで USU に戻ってください。



「OPEN IT」をタッチ



「他のアプリの上に重ねて表示できるようにする」をオン

この設定を後から行いたい場合は、USU を一度終了してから再実行するか、Android デバイスの設定メニューから行うことができます。

[設定] → [アプリと通知] → [Unitech Scanner Utility] → [詳細設定] → [他のアプリの上に重ねて表示]

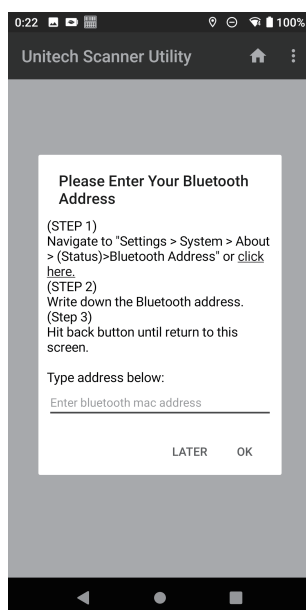
## 2.3 Bluetooth アドレスのセットアップ

✍ Android 8.0 以前の OS を使用している場合、この手順はスキップすることができます。

✍ ユニテックブランドの Android デバイスを使用している場合、この手順をスキップすることができます。

USU は、実行される Android デバイスの Bluetooth アドレスを知る必要があります。Android 8.0 以前では、USU は Bluetooth アドレスを自動的に検出することができます。しかし、Android のセキュリティ上の制限により、Android 8.1 以降では、Bluetooth アドレスを自動的に検出できなくなりました。そのため、ユーザーは USU を実行している Android デバイスの Bluetooth アドレスを見つけて、手動で入力する必要があります。

USU が Bluetooth MAC アドレスの入力を求めた場合、以下の手順で情報を入力してください。



実行している Android デバイスの Bluetooth アドレスを入力

### 手順 1: Android デバイスの Bluetooth アドレスを調べる

Android のバージョンによって、「設定」アプリの以下のページから Bluetooth アドレス情報を取得することができます。

Android バージョン	Bluetooth MAC アドレスの取得先
Android 8.1	設定→システム→端末情報→機器の状態→ Bluetooth アドレス
Android 9	設定→端末情報→ Bluetooth アドレス
Android 10	設定→端末情報→ Bluetooth アドレス
Android 11	設定→端末情報→ Bluetooth アドレス

### 手順 2: USU に Bluetooth アドレスを入力する

Bluetooth アドレスを入力する際は、コロンを含む 17 文字すべてを入力してください。アルファベットは、大文字でも小文字でも構いません。例：00:16:09:4D:63:5C

## 2.4 Bluetooth デバイスの検出許可

✎ Android デバイスの Bluetooth がオンになっている場合、この手順はスキップすることができます。

スキャナが Android デバイスに接続できるようにするために、USU は Android デバイスの Bluetooth をオンにして、周辺の Bluetooth デバイスを発見できるように設定する必要があります。ダイアログメッセージが表示されたら「許可」をタッチしてください。

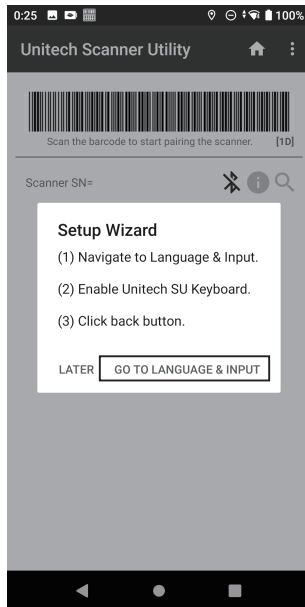


「許可」をタッチ

## 2.5 SU Keyboard のセットアップ

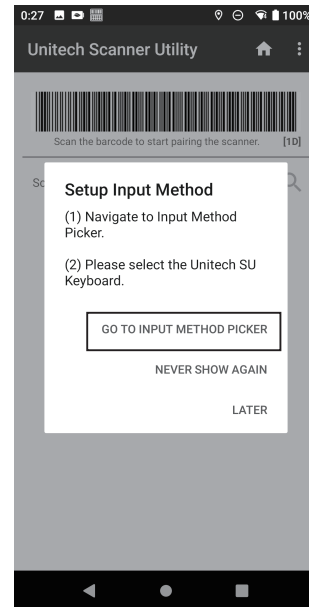
USU では、Scan to Key 関連の機能の大半に Unitech SU Keyboard を使用しています。このため、Unitech SU Keyboard をシステムの標準仮想キーボードとして手動で設定する必要があります。以下の手順で設定を行ってください。

手順 1



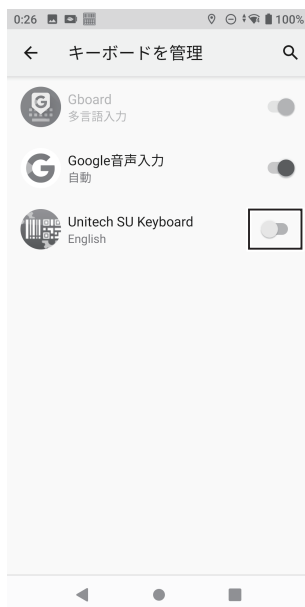
[GO TO LANGUAGE & INPUT] をタッチ

手順 3



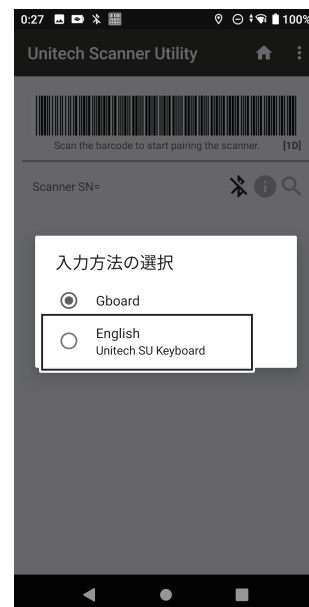
[GO TO INPUT METHOD PICKER] をタッチ

手順 2



[Unitech SU Keyboard] をオン

手順 4



[Unitech SU Keyboard] をタッチして選択

## 2.6 スキャナとのクイックペアリング

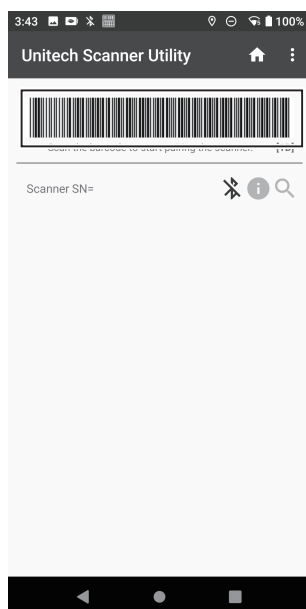
これで USU は、サポートされているユニテックの Bluetooth スキャナとペアリングして接続する準備が整いました。メイン画面にはクイックペアリングのバーコードが表示され、作業中のスキャナとデバイスを素早くペアリングすることができます。

### 手順 1 スキャナをクイックペアリング用に設定する

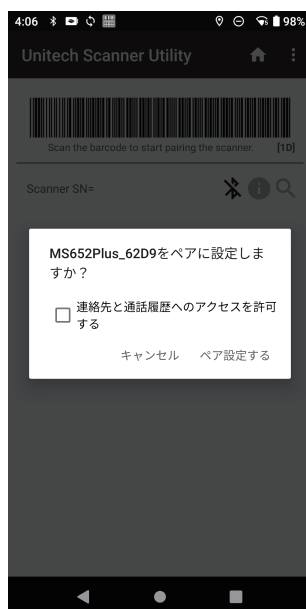
MS652Plus の場合：工場出荷状態に戻す→ BT SPP → BT SPP ACK/NAK 有効



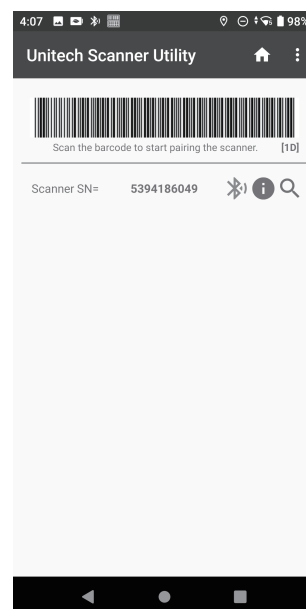
### 手順 2 スキャナでクイックペアリングバーコードをスキャンする



### 手順 3 メッセージが表示されたら「ペア設定する」をタッチする



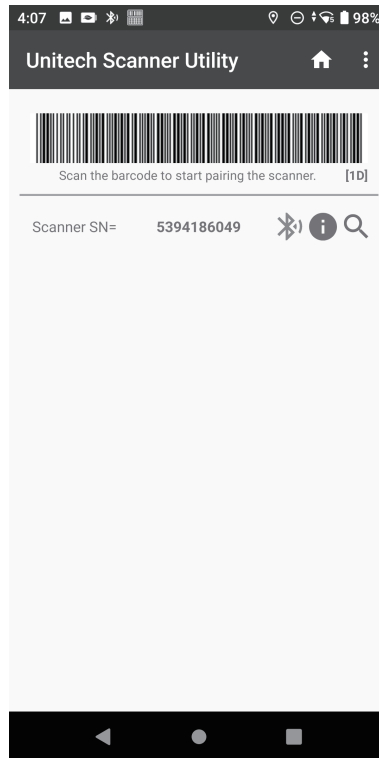
### 手順 4 スキャナが接続されるまで待機します。





ユニテックの Bluetooth スキャナを使用して、メイン画面に表示されるペアリングバーコードをスキャンします。スキャナが Android デバイスとペアリングする準備ができると、Bluetooth ペアリング確認ダイアログがポップアップし、許可を求められます。ペアリングを許可すると、スキャナは Android デバイスとの接続を試みます。接続が完了すると、Android デバイスの画面にスキャナのシリアル番号が表示され、Bluetooth アイコンが緑色に変わります。

USU は、一度に 1 台のスキャナと連動するように設計されており、スキャナを Android デバイスとペアリングすると、それまでにペアリングしたすべてのスキャナの情報は削除されます。作業中のスキャナが現在接続されているかどうか分からない場合は、USU のメイン画面でシリアル番号が一致しているかどうかを確認してください。いずれにしても、スキャナがすでに Android デバイスに接続されている場合でも、他のスキャナのペアリングは可能です。

## 第3章 ホーム画面とスキャナの情報




 : 任意のページからホーム画面に移動します。

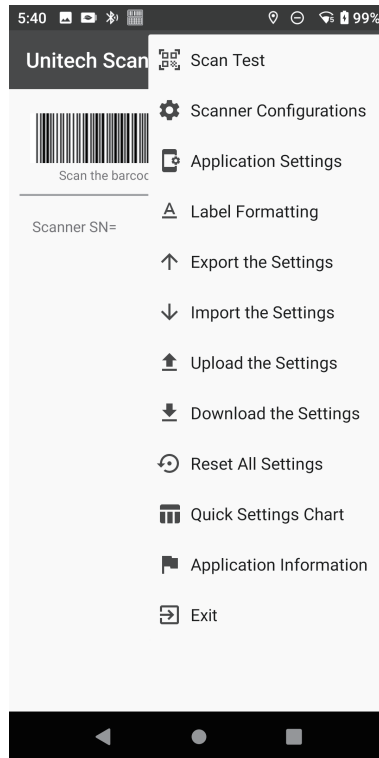
 : このアイコンをタッチすることで、接続されたスキャナの情報を見ることが出来ます。

Scanner Info	
Name	MS652Plus_62D9
Serial Number	5394186049
Bluetooth	B0:91:22:E7:62:...
Battery Status	ok
Firmware Version	MS652Plus V1.50

接続されているスキャナの名前、シリアル番号、Bluetooth アドレス、バッテリー情報、ファームウェアのバージョンを把握することができます。

 : このアイコンをタッチすると、接続されているスキャナからビープ音が3回鳴り、バイブレーターが振動します。この機能は、どのスキャナがどの Unitech Scanner Utility に接続されているかを確認するためのものです。

## 第4章 アプリケーションメニュー



### 4.1 Scan Test

接続されているスキャナでバーコードをスキャンすると、スキャンしたバーコードの情報がテストエリアに表示されます。

### 4.2 Scanner Configurations

接続されているスキャナに設定されている情報を変更することができます。Scanner Configurationsの詳細については、次項以降に記載します。

### 4.3 Application Settings

Unitech Scanner Utilityは、ユーザーがいくつかの設定を変更することができます。Application Settingsの詳細については、次項以降に記載します。

### 4.4 Label Formatting

Unitech Scanner Utilityは、ユーザーがスキャンしたバーコードを希望する形式に変更するためのフィルタやラベルフォーマットを提供します。ラベルフォーマットの詳細については、次項以降に記載します。

## 4.5 Export/Import the Settings

「Scanner Configurations」と「Application Settings」の設定内容を設定ファイルとして書き出すことができます。このファイルは、管理者用 PC や他の Android デバイスに保存して、再びで読み込むことができます。また、この設定ファイルは、「アプリの自動実行」機能でも利用できます。

## 4.6 Upload/Download the Settings

ユーザーは、USU で設定した情報をアップロードして接続されたスキャナの設定を更新したり、接続されたスキャナに保存されている現在の設定情報をダウンロードして、USU の設定情報を更新したりすることができます。

## 4.7 Reset All Settings

ユーザーは、Unitech Scanner Utility で行ったすべての変更を消去し、すべての設定を元の工場出荷時の状態に戻すことができます。(接続されているスキャナの情報は変更されません)

## 4.8 Quick Settings Chart

ユーザーが自分の接続状況や接続したスキャナの動作を変更するために、3 種類のバーコードを提供します。3 種類のバーコードの詳細については、次項以降に記載します。

## 4.9 Application Information

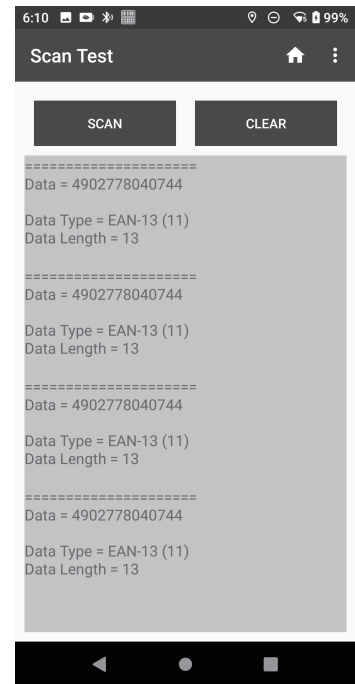
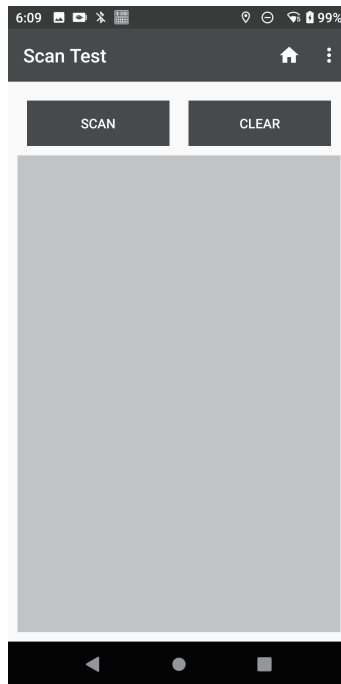
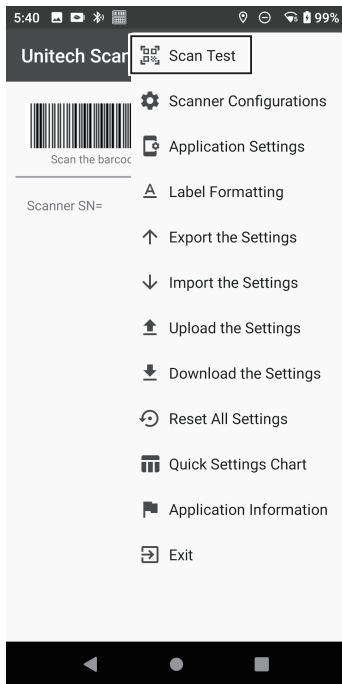
ユーザーは、使用している Unitech Scanner Utility のバージョンや、Unitech Scanner Utility に関する予備知識を得ることができます。また、この部分には著作権情報が記載されています。

## 4.10 Exit

この部分には、ユーザーのための 2 つのオプションがあります。「Hide」とは、ユーザーが Unitech Scanner Utility をバックグラウンドに移動させ、その機能を利用できることを意味します。一方、「Exit Scanner Utility」とは、ユーザが Unitech Scanner Utility を完全に終了し、Unitech Scanner Utility のいかなる機能も利用できなくなることを意味する。

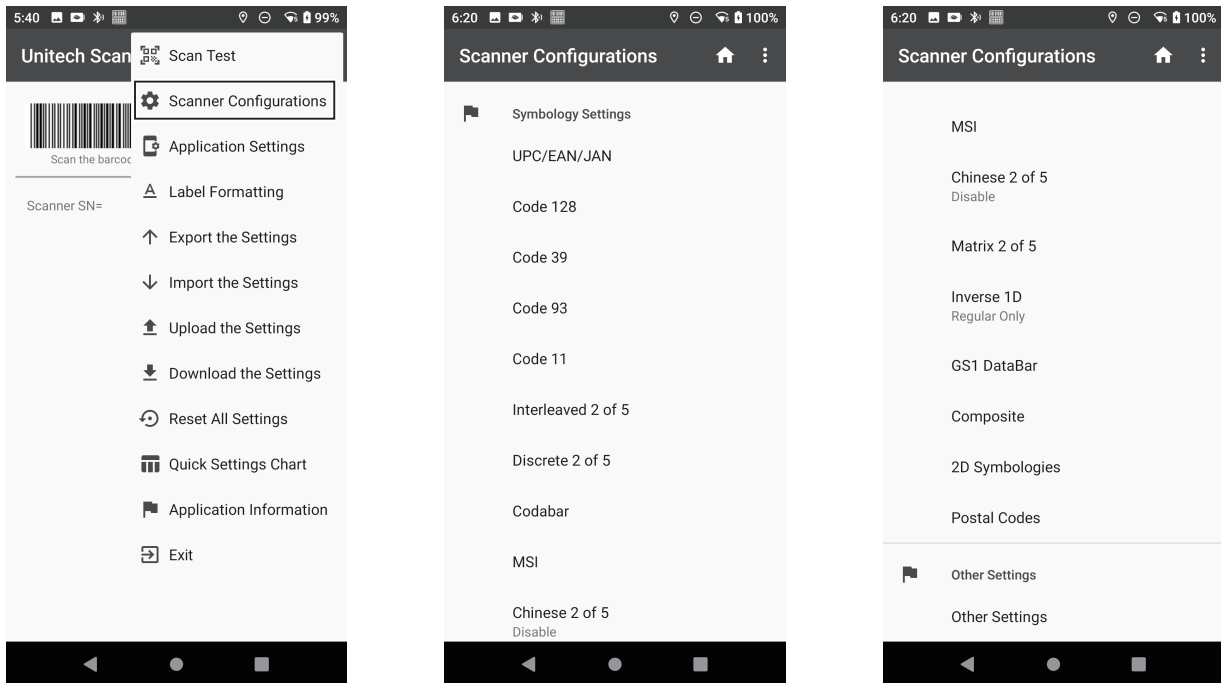
## 第5章 Scan Test

USU は、スキャンされたデータを、Android デバイス上で動作するアプリケーションのキーボード入力に変換します。そのため、ユーザーは任意のアプリケーションを開き、テキストフィールドにフォーカスしてから、スキャナでバーコードをスキャンしてデータを取得することができます。⇒「Scan Test」をタップすると、スキャンデータを表示するテストエリアが用意されています。この画面では、ユーザーが接続されたスキャナを使ってバーコードをスキャンすると、スキャンされたバーコードの情報がテストエリアに表示されます。



## 第6章 Scanner Configuration

USU は、☰ → 「⚙️ Scanner Configuration」 をタップして、サポートされているスキャナの設定を構成することができます。



ユーザーがスキャナの設定を構成するために、2種類の設定があります。

「**Symbology Settings**」では、以下のバーコードパラメータがサポートされています。

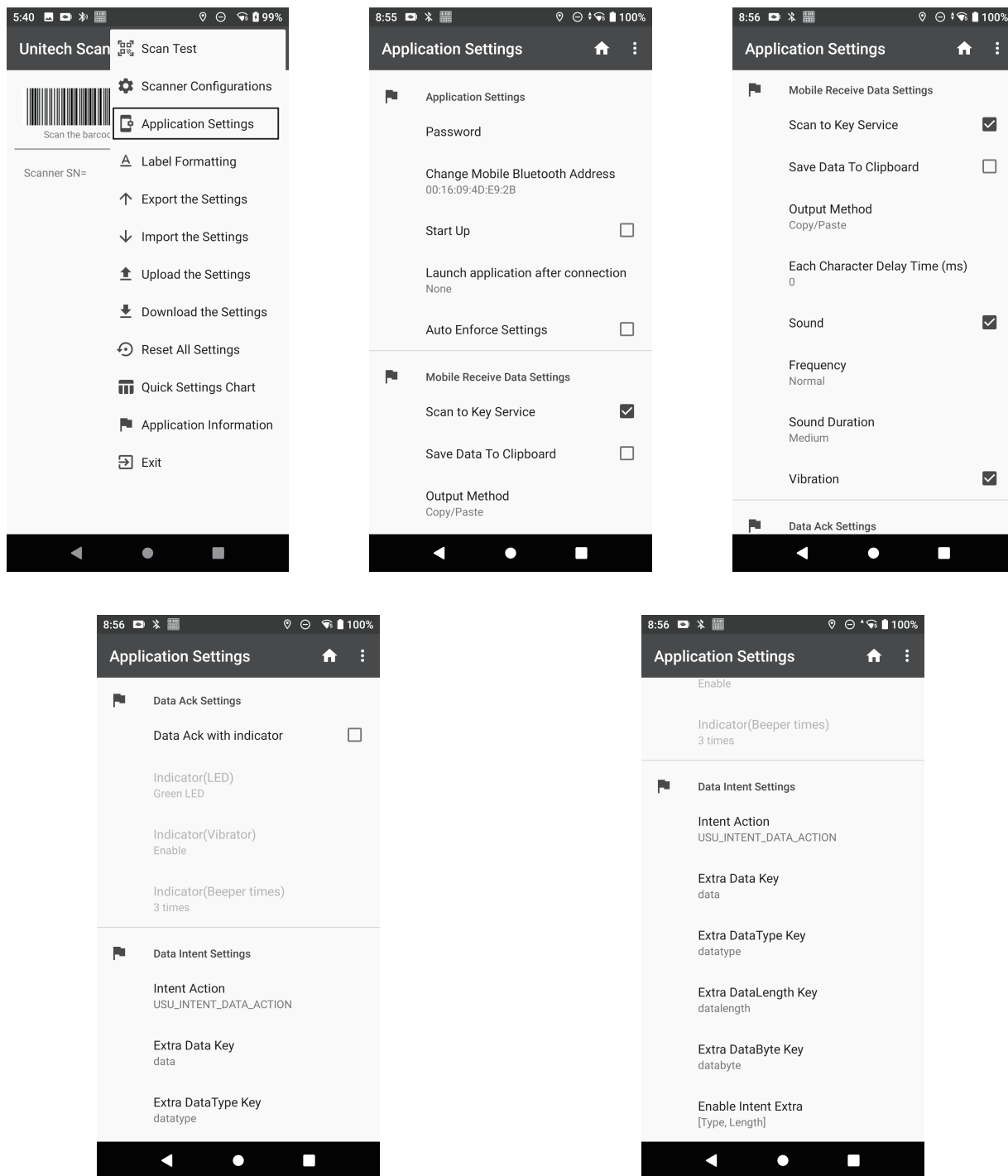
UPC/EAN/JAN	Code 11	MSI	GS1 Databar
Code 128	Interleaved 2 of 5	Chinese 2 of 5	Composite
Code 39	Discrete 2 of 5	Matrix 2 of 5	2D Symbologies
Code 93	Codabar	Inverse 1D	Postal Codes

「**Other Settings**」では、以下のスキャナの動作に関するパラメータがサポートされています。

<b>Trigger Settings</b>	
Pick List Mode	Trigger Modes
Decode Session Timeout	Security Level
<b>Exposure Settings</b>	
Low Light Motion Detection Assist	
<b>Other Settings</b>	
Transmit Code ID Character	Transmit No Read Message
BT Signal Checking Level	

## 第7章 Application Settings



USU は、☰ → 「Application Settings」 をタップして、USU の設定を構成することができます。



「Application Settings」画面では、さらにいくつかの設定があります。

## 7.1 Application Settings

### ■ Password

ユーザーによる設定変更を防ぐために、IT 管理者はアプリケーションのパスワードを設定することができます。パスワードが設定されている場合、ユーザーは正しいパスワードを入力しないと、メニューから「 Scanner Configurations」や「 Application Settings」に入ることができません。

### ■ Change Mobile Bluetooth Address

誤った Bluetooth アドレスを入力してしまった場合、ここで修正することができます。

### ■ Start Up

このオプションをチェックすると、Unitech Scanner Utility がバックグラウンドアプリケーションとして自動的に起動するようになります。

### ■ Launch application after connection

スキャナと Unitech Scanner Utility が接続されたとき、自動的に起動するアプリケーションを設定することができます。

### ■ Auto Enforce Settings

設定ファイル (conf ファイル) として保存した「Application Settings」や「Scanner Configurations」を、次回 unitech scanner utility を起動した際、スキャナに自動的にアップロードします。

## 7.2 Mobile Receive Data Settings

### ■ Scan to Key Service

このオプションをチェックすると、USU は接続されたスキャナでスキャンしたバーコードデータを取得し、キーボード入力に変換してそれぞれのアプリケーションに再送信することができます。このオプションにより、ユーザーは目的のアプリケーションでバーコードデータを利用することができます。なお、この機能は、17 ページの「第 5 章 Scan Test」で紹介したテストエリアで試すことができます。

### ■ Save Data To Clipboard

このオプションをチェックすると、スキャンしたバーコードの情報をクリップボードに保存します。

### ■ Output Method

スキャンしたバーコードデータの出力方法を「Copy/Paste」または「Key Emulator」から選択することができます。

### ■ Each Character Delay Time (ms)

「Output Method」に「Key Emulator」を選択している場合、スキャンしたバーコードデータの各文字の間に送信遅延時間を設定することができます。

## ■ Sound

このオプションをチェックすると、Android デバイスの音量を 0 にしていない限り、接続されたスキャナからのバーコードデータの送信を Unitech Scanner Utility が感知すると音を鳴らしてユーザーに通知します。

## ■ Frequency

このオプションでは、「Sound」の周波数を変更するために、「Base」、「Normal」、「Sharp」を選択することができます。「Sharp」とは高い音を出すことを意味し、「Base」とは少し低めの音を出すことを意味します。

## ■ Sound Duration

このオプションでは、「Sound」が発信する音の長さを「Short」「Medium」「Long」の中から変更することができます。

## ■ Vibration

このオプションをチェックすると、接続されたスキャナからのバーコードデータの送信を Unitech Scanner Utility が感知すると振動してユーザーに通知します。

## 7.3 Data Ack Settings

### ■ Data Ack with Indicator

このオプションをチェックすると、接続されたスキャナからのバーコードデータの送信を Unitech Scanner Utility が感知すると、Unitech Scanner Utility は接続されたスキャナに対して「LED」「Vibrator」「Beeper times」の 3 種類の Indicator アクションを要求します。

### ■ Indicator (LED)

LED の色を「No LED」「Red LED」「Green LED」「Blue LED」から 1 種類を選ぶことができます。

### ■ Indicator (Vibrator)

「Enable」を選択すると、接続されたスキャナにアクションとして振動を要求します。

### ■ Indicator (Beeper times)

ブザーの発信回数について「No」「1 time」「2 times」「3 times」から 1 種類を選ぶことができます。

## 7.4 Data Intent Settings

Unitech Scanner Utility が受信したバーコードデータは、Android Intent として出力することができます。ビジネスアプリケーションで、スキャナからのデータを Android Intent で取得したい場合は、バーコードがスキャンされたときに、Unitech Scanner Utility が Intent を送信するように設定することができます。Intent を送信する際には、Intent Action と、Action に Bundle される「extras」を設定することができます。これらのフィールドを入力するために必要な Action と Extra Bundle については、アプリケーション開発者にご相談ください。

## ■ Intent Action

Intent Action の名前です。この識別子により、アプリケーションは、この Intent にスキャンされたバーコードデータが含まれていることを認識できます。

## ■ Extra Data Key

スキャンしたバーコードそのものを格納するフィールドの名前を指定します。返されるデータは文字列 (String) です。

## ■ Extra DataType Key

スキャンしたバーコードの種類を格納するフィールドの名前を指定します。返されるデータは、Barcode Type を表す数値 (Integer) です。Barcode Type を表す数値は、スキャナエンジンの種類によって定義されている値が異なります。詳細はマニュアルを参照してください。

## ■ Extra DataLength Key

スキャンしたバーコードのデータ長を格納するフィールドの名前を指定します。返されるデータは、数値 (Integer) です。

## ■ Extra DataByte Key

スキャンしたバーコードデータをバイト配列として格納するフィールドの名前を指定します。返されるデータは、バイト配列 (Byte Array) です。

## ■ Enable Intent Extra

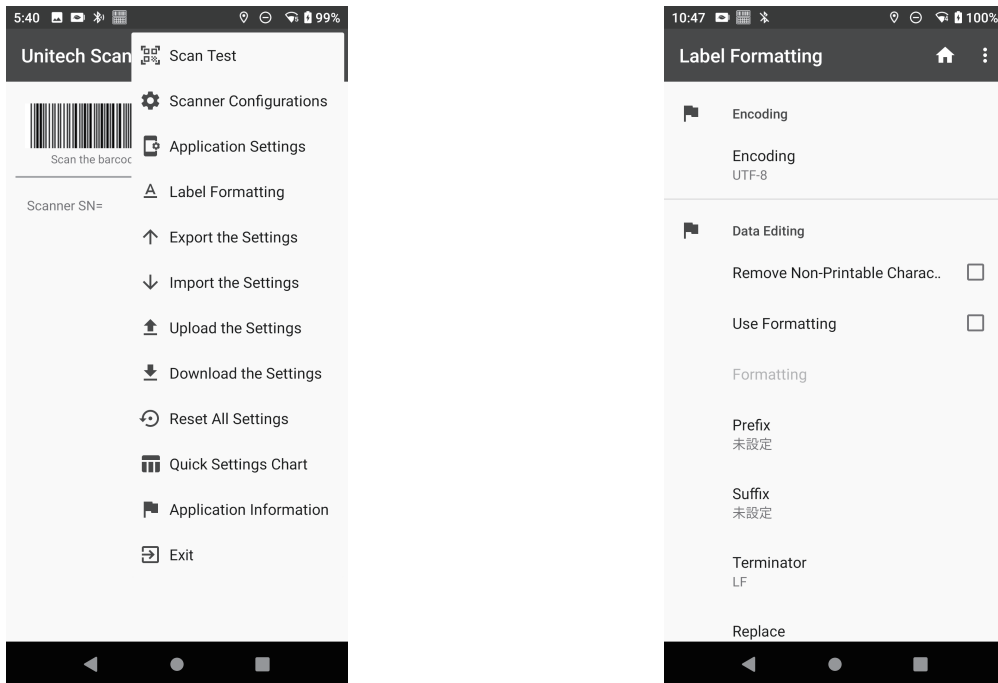
Intent が発行されたときに、Intent に含めるフィールドを選択します。初期値では、Intent には 3 つのフィールドが含まれます。「Data」、「DataType」、「DataLength」の 3 つのフィールドです。

たとえば、バーコード「4710126021396」（バーコードの種類は JAN-13）がスキャンされると「USU\_INTENT\_DATA\_ACTION」の Action を持つ Intent が発火し、以下のフィールドを持つ Extra Bundle が格納されます。

- Data (String) : 4710126021396
- DataType (Integer) : 11
- DataLength (Integer) : 13

## 第 8 章 Label Formatting

USU は、: → 「A Label Formatting」 をタップして、USU が出力するデータのラベルフォーマットを構成することができます。



ユーザーは、バーコードの出力形式をカスタマイズすることができます。Unitech Scanner Utility は、ユーザーのカスタマイズニーズを実現するために、2つのフィールドに関連するラベルフォーマットを提供します。

### 8.1 Encoding

#### ■ Encoding

エンコード形式を変更できるように、4つの選択肢 (UTF-8、GBK、BIG5、Shift\_JIS) が用意されています。

### 8.2 Data Editing

#### ■ Remove Non-Printable Character

このオプションをチェックすると、バーコードデータに含まれる印刷不可能な文字を排除することができます。

#### ■ Use Formatting および Formatting

このオプションをチェックすると、ユーザーはフォーマットルールを正規表現として設定し、異なるバーコードタイプに対してアクションを行うことができます。Unitech Scanner Utility がサポートしているアクションは、「replace Regex」、「Input」、「Switch」、「Replace」です。ユーザーは、コードタイプごとに適用される特定のルールを設定することができます。

## (1) 新しいルールの作成方法

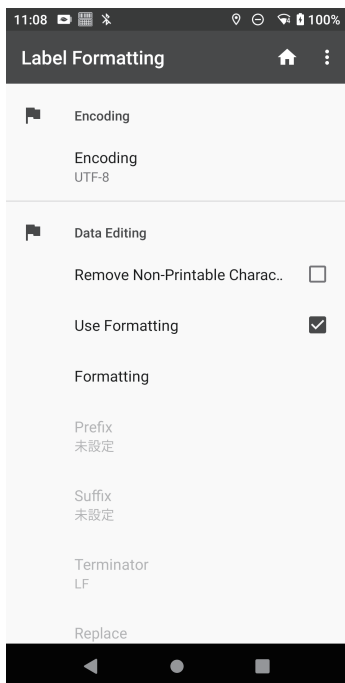
手順1 「Use Formatting」にチェックを入れます。

手順2 「Formatting」をタップします。

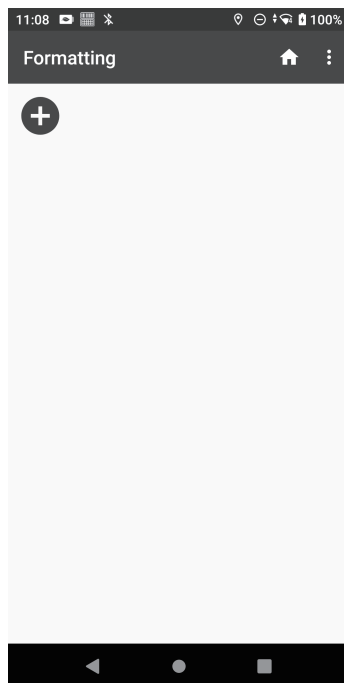
手順3 「+」をタップして新しいルールを追加します。

手順4 「Code Type」よりルールを追加したいバーコードタイプを指定し「ADD」をタップします。

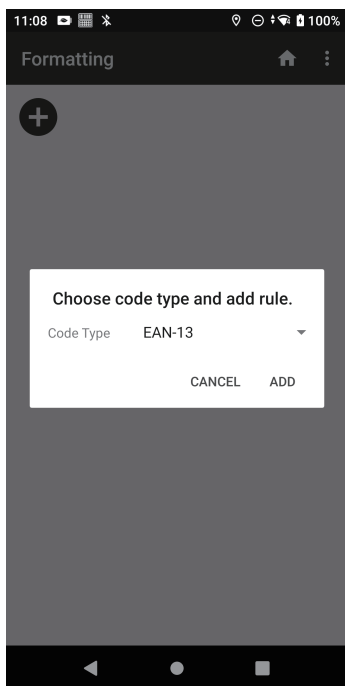
手順5 ルールを作成し「CONFIRM」ボタンをタップして保存します。



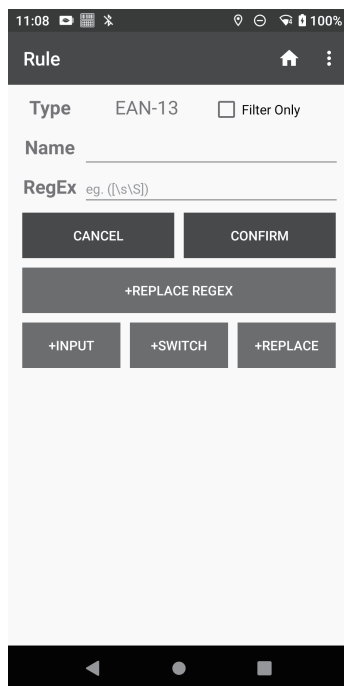
手順1、手順2



手順3



手順4



手順5

## (2) 既存ルールの編集方法

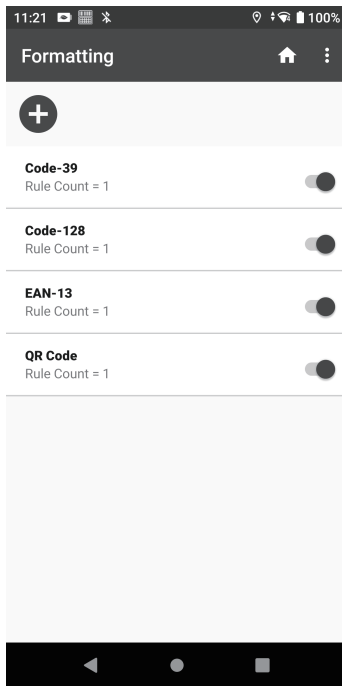
**手順 1** 既存のコードタイプをタップします。

この画面で、コードタイプのスイッチをオフにすると、そのコードタイプに対するルールをすべて無効化することができます。

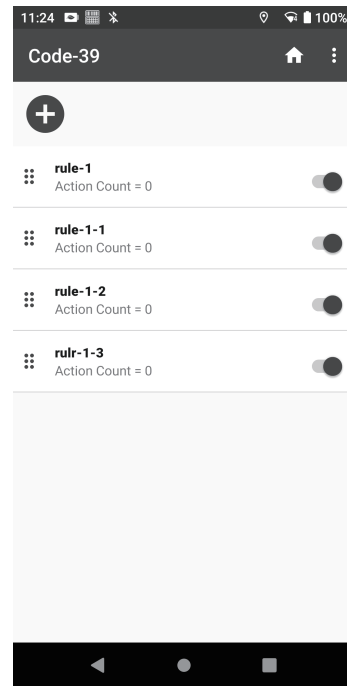
**手順 2** 既存のルールをタップして、ルールを編集します。

この画面で、ルールのスイッチをオフにすると、そのルールだけを無効化することができます。

また、「**⋮**」をドラッグしてルールの順番を変更することができます。ルールの順番は上に行くほど優先度が高く設定されます。



手順 1



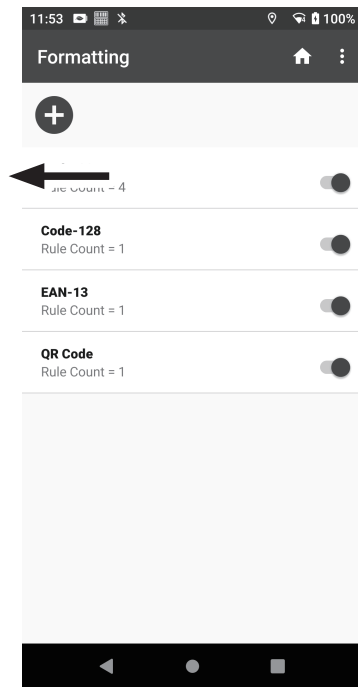
手順 2

### (3) 既存コードタイプの削除方法

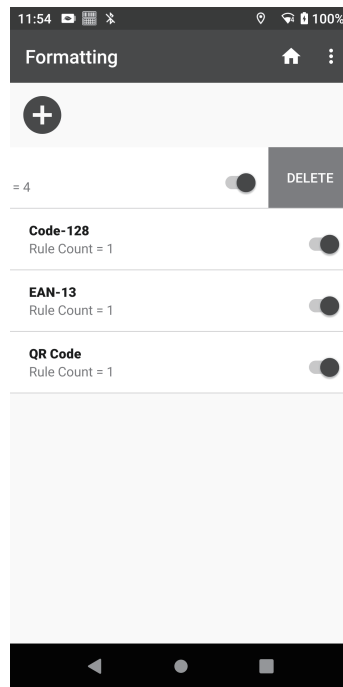
コードタイプを削除すると、そのコードタイプに保存されている全てのルールが削除されます。

手順1 削除したい既存のコードタイプを左にスワイプします。

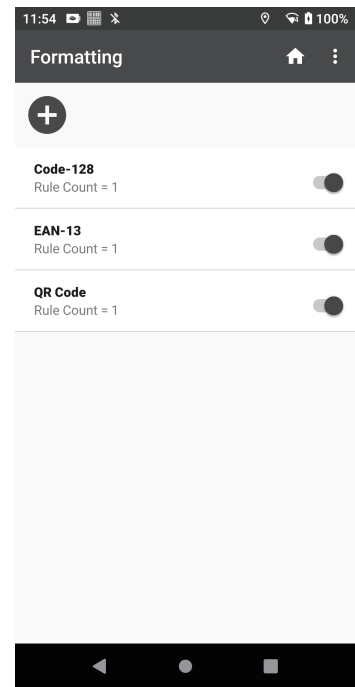
手順2 「DELETE」をタップします。



手順1



手順2

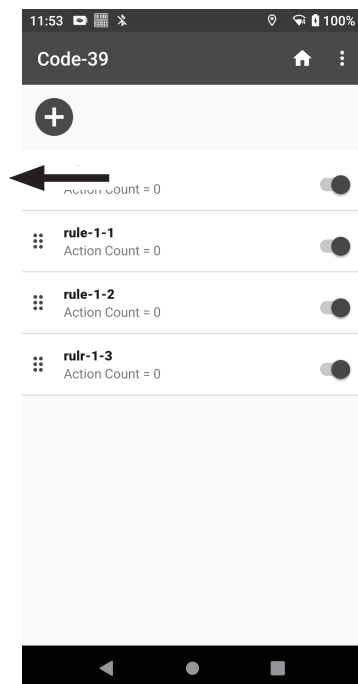


### (4) 既存のルールの削除方法

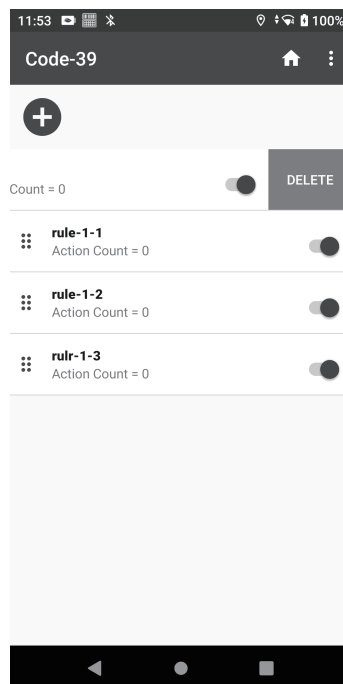
手順1 削除したいルールが保存されている既存のコードタイプをタップします。

手順2 削除したい既存のルールを左にスワイプします。

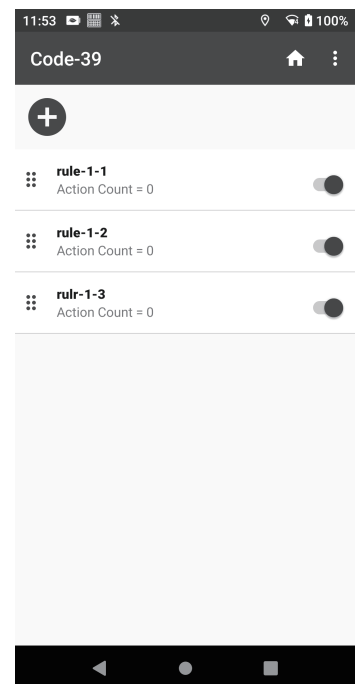
手順3 「DELETE」をタップします。



手順2



手順3



## (5) ルール画面

特定のバーコードタイプを選択した後、ユーザーは「ルール画面」に移動し、選択したバーコードタイプに対する詳細なアクションを設定することができます。ルール画面では、ルールの名前 (Name) と正規表現によるオリジナルのルール (Regex) を入力する必要があります。

### **Filter Only**

このオプションが未チェックのとき、「RegEx」に入力された正規表現パターンに一致する文字 (列) を送信します。このオプションがチェックされているとき、「RegEx」に入力された正規表現パターンに一致する文字 (列) に対して「+REPLACE REGEX」「+INPUT」「+SWITCH」「+REPLACE」を実行し、すべてのデータを送信します。

### **Name**

ルールの名前を入力します。

### **RegEx**

正規表現パターンを入力します。

### **CANCEL**

編集中のルールを破棄して、前の画面に戻ります。

### **CONFIRM**

編集中のルールを保存して追加または上書きします。

### **+REPLACE REGEX**

RegEx に入力されている正規表現パターンに一致する文字と、任意の文字 (列) を置き換えることができます。正規表現パターンに一致した文字は 1 文字ずつ置換処理されることに注意してください。

### **+INPUT**

スキャンしたバーコードデータが、RegEx に入力されている正規表現パターンと一致する場合、任意の位置に任意の文字 (列) を挿入して送信することができます。

### **+SWITCH**

スキャンしたバーコードデータが、RegEx に入力されている正規表現パターンと一致する場合、任意の位置の文字 (列) をすべて小文字またはすべて大文字に変換して出力することができます。

### **+REPLACE**

スキャンしたバーコードデータが、RegEx に入力されている正規表現パターンと一致する場合、任意の位置の文字 (列) を任意の文字 (列) に置き換えることができます。

(6) ルール作成例：データ内の数字のみ送信する

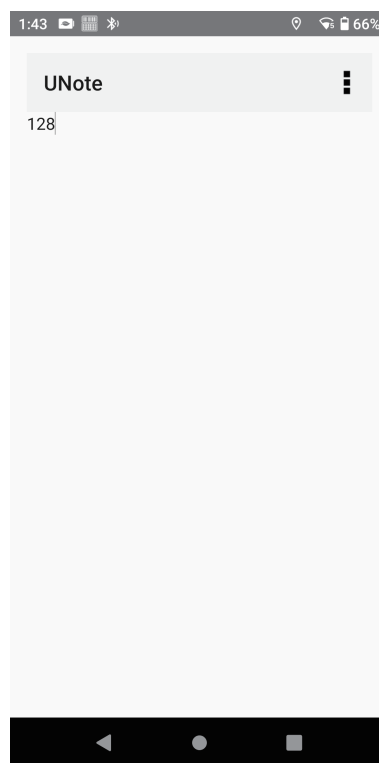
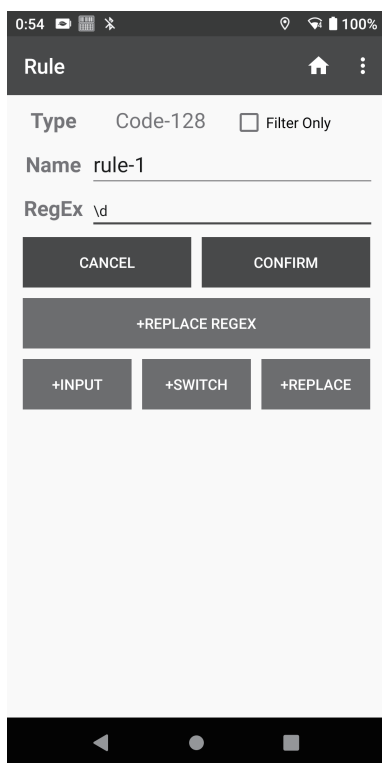
- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックしない**
- RegEx : **\d**

サンプルバーコード (Code-128)



Unitech128

- 出力文字列 : **128**



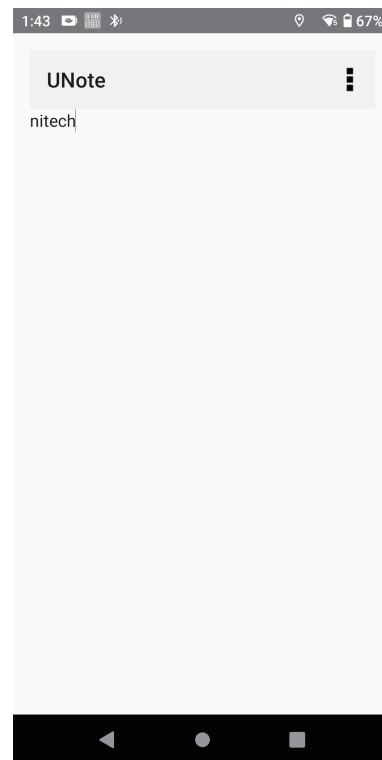
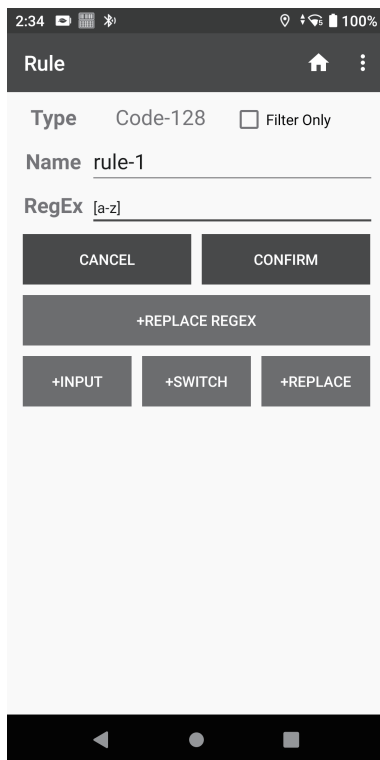
(7) ルール作成例：データ内の英字小文字のみ送信する

- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックしない**
- RegEx : **[a-z]**

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : **nitech**



(8) ルール作成例：データ内の先頭から3文字を送信する

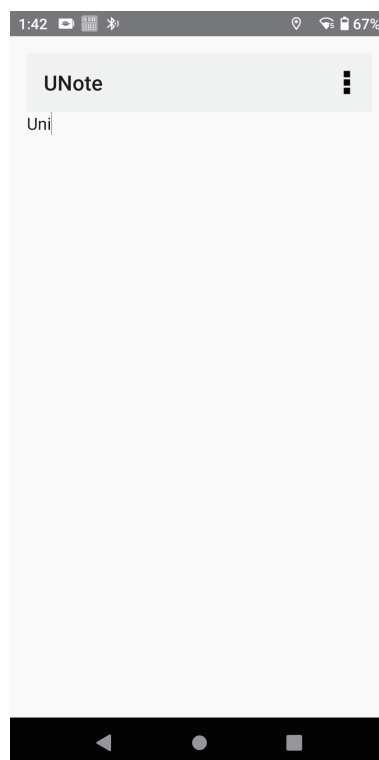
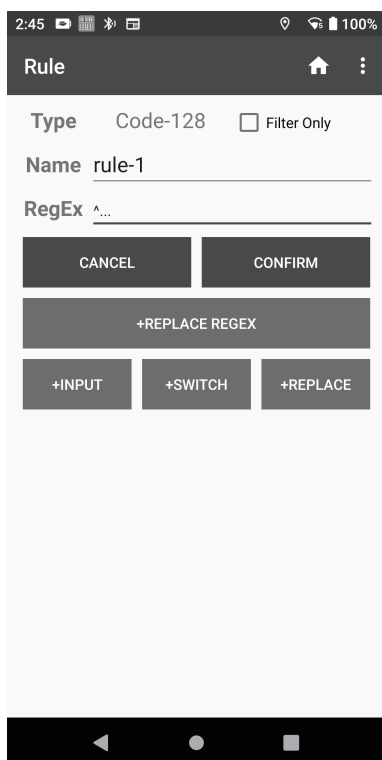
- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックしない**
- RegEx : **^...**

サンプルバーコード (Code-128)



Unitech128

- 出力文字列 : **Uni**



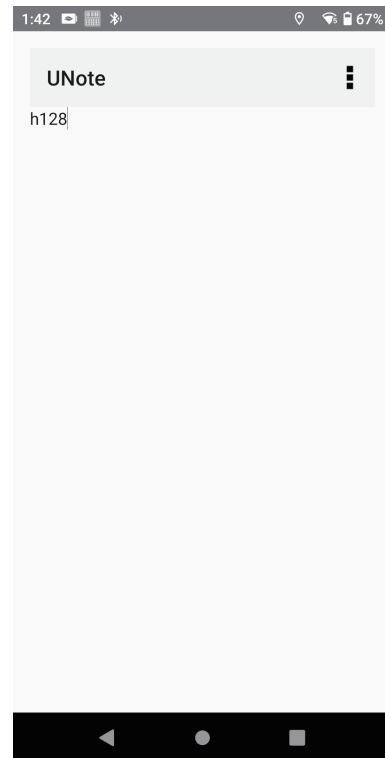
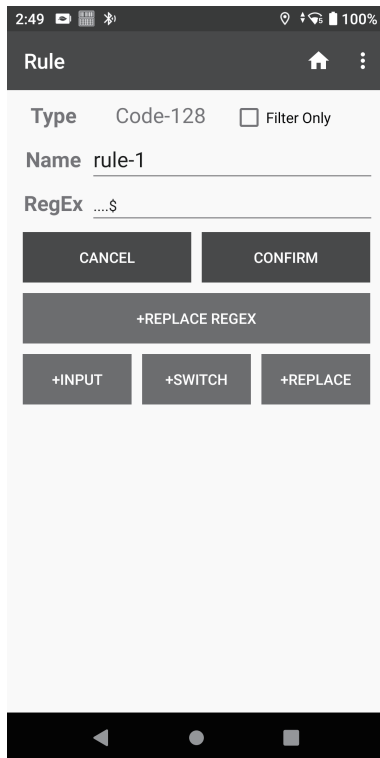
(9) ルール作成例：データ内の末尾から 4 文字を送信する

- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックしない**
- RegEx : **....\$**

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : **h128**



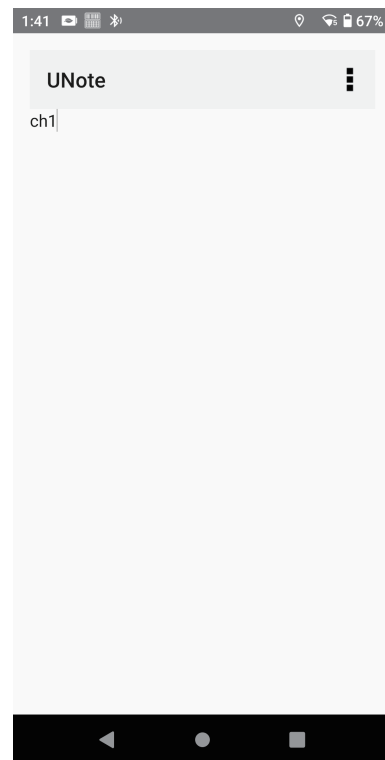
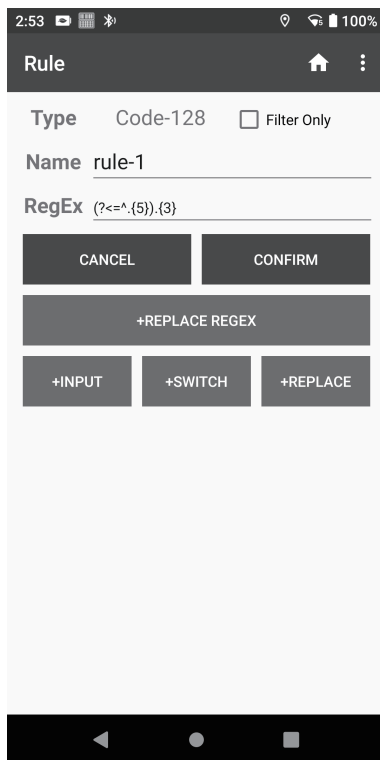
(10) ルール作成例：データ内の 5 文字目から 3 文字を送信する

- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックしない**
- RegEx : **{?<=^.{5)}.{3}**

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : **ch1**



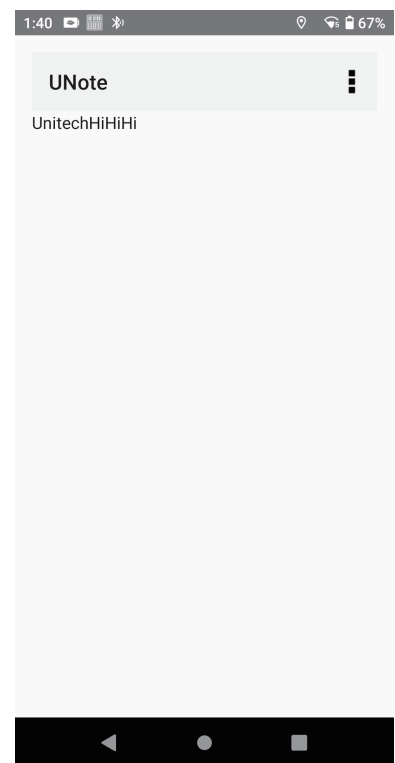
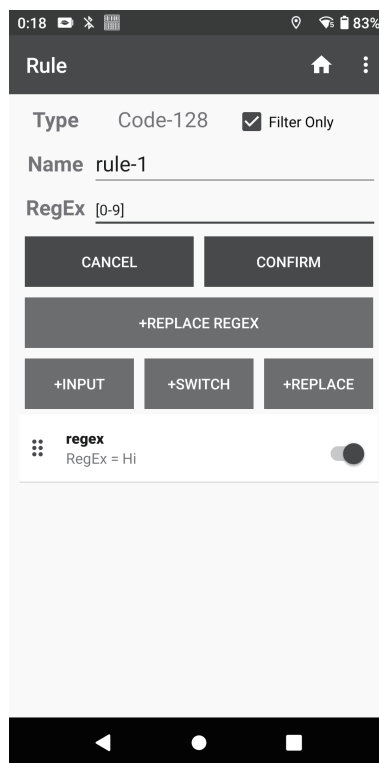
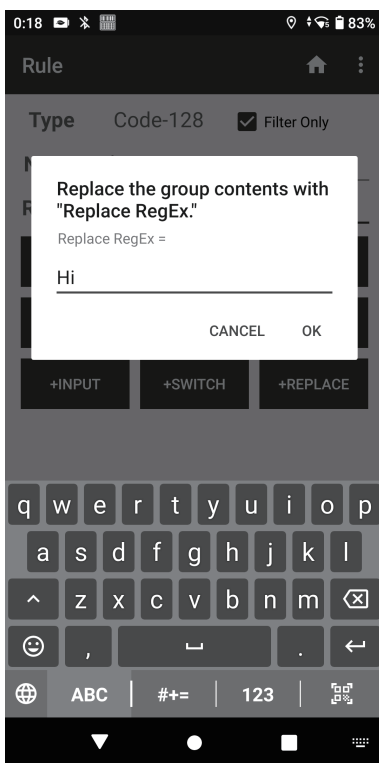
(11) ルール作成例：データ内の数字を別の文字「Hi」に置き換える

- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックする**
- RegEx : **[0-9]**
- REPLACE REGEX : **Hi**

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : **UnitechHiHiHi**



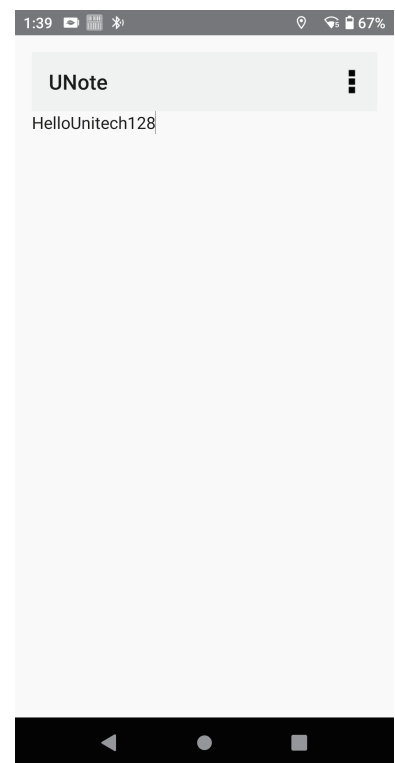
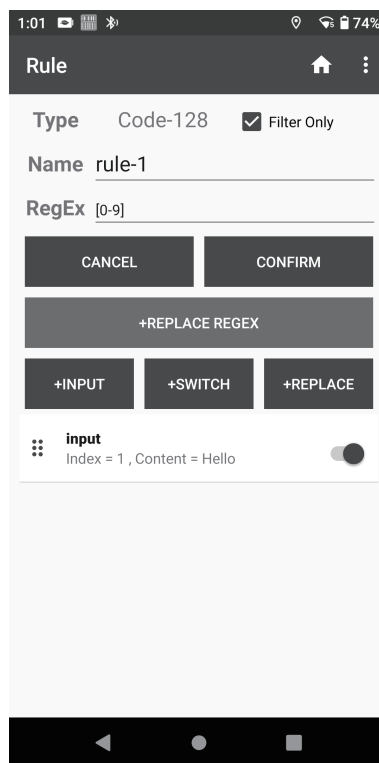
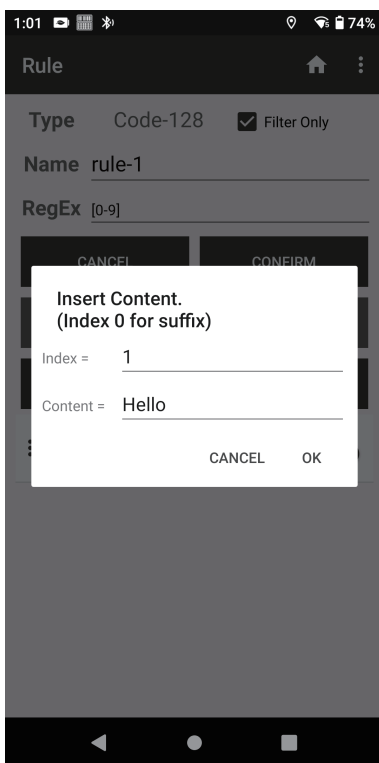
(12) ルール作成例：データ内に数字があったら先頭に「Hello」を挿入する

- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックする**
- RegEx : **[0-9]**
- INPUT : Index= 1、Content= **Hello**

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : **HelloUnitech128**



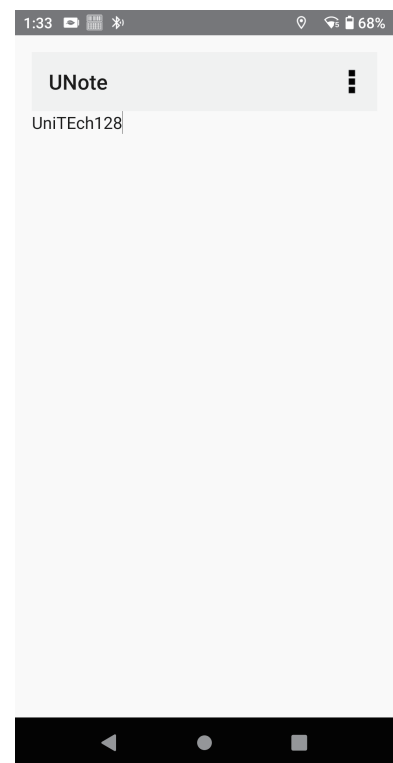
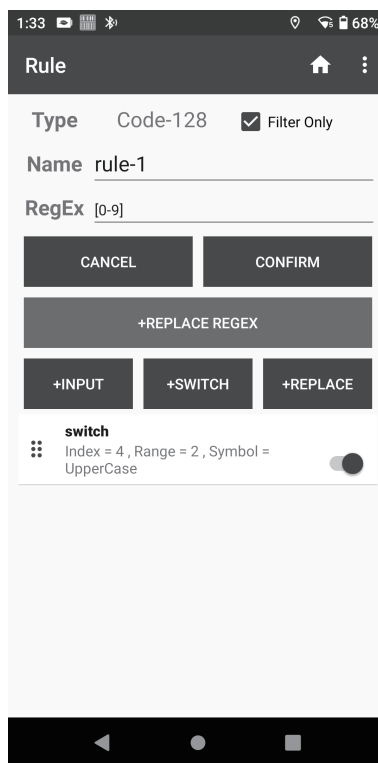
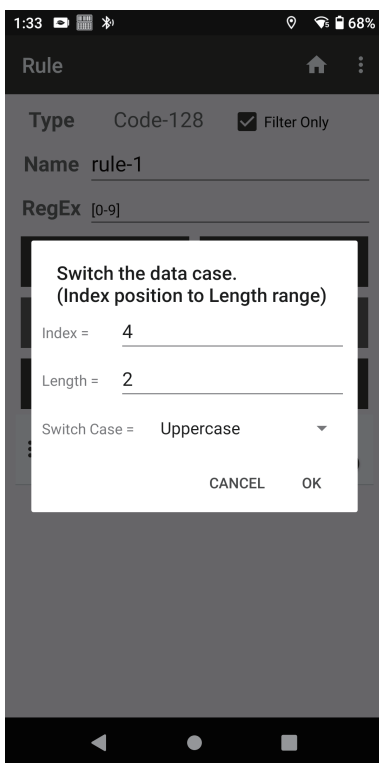
(13) ルール作成例：データ内に数字があったら 4 文字目から 2 文字を大文字に変換する

- Type : **Code-128**
- Filter Only : **チェックする**
- RegEx : **[0-9]**
- SWITCH : Index= 4、Length= 2、Switch Case= **Uppercase**

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : **UniTEch128**



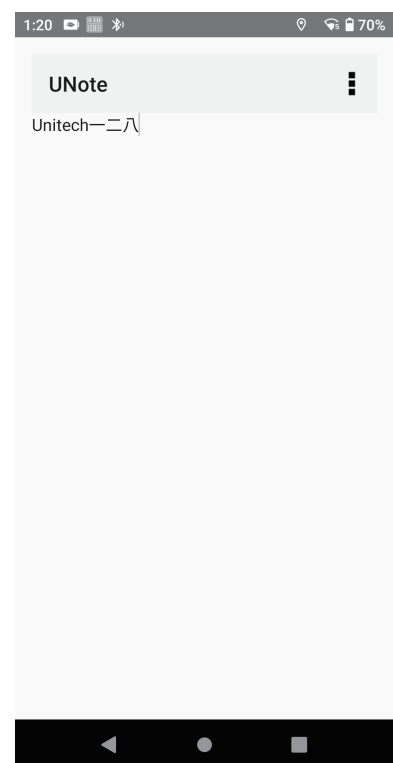
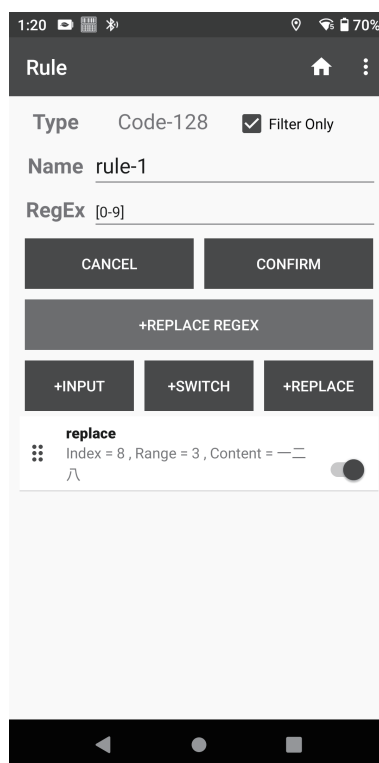
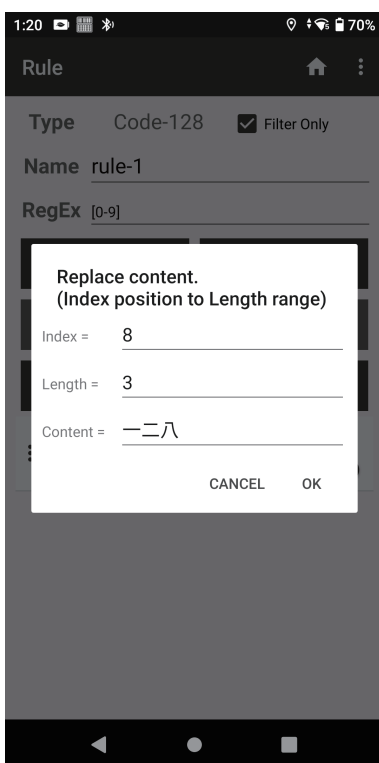
(14) ルール作成例：データ内に数字があったら 8 文字目から 3 文字を漢数字の「一二八」に置き換える

- Type : Code-128
- Filter Only : チェックする
- RegEx : [0-9]
- REPLACE : Index= 8、Length= 3、Content= 一二八

サンプルバーコード (Code-128)



- 出力文字列 : Unitech 一二八



## ■ Prefix/Suffix

「Use Formatting」機能を有効にしなくても、Unitech Scanner Utility がサポートする特定の数字、文字、記号を、スキャンしたバーコードデータの先頭または末尾に挿入して送信することができます。

## ■ Terminator

「Use Formatting」機能を有効にしなくても、スキャンしたバーコードデータの終端に「None/Null」、「CR」、「LF」、「CRLF」、「TAB」の5つのいずれかを送信することができます。

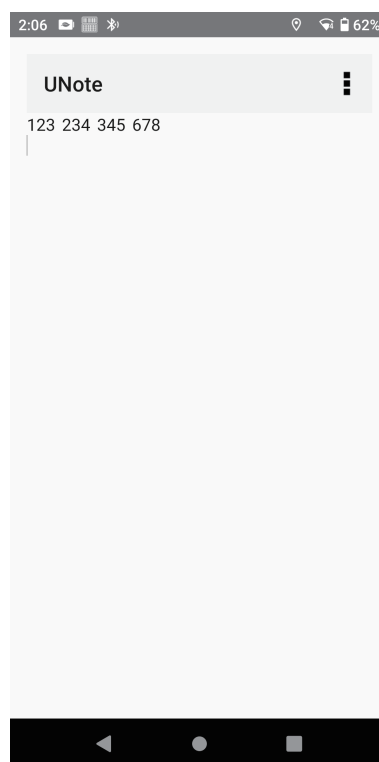
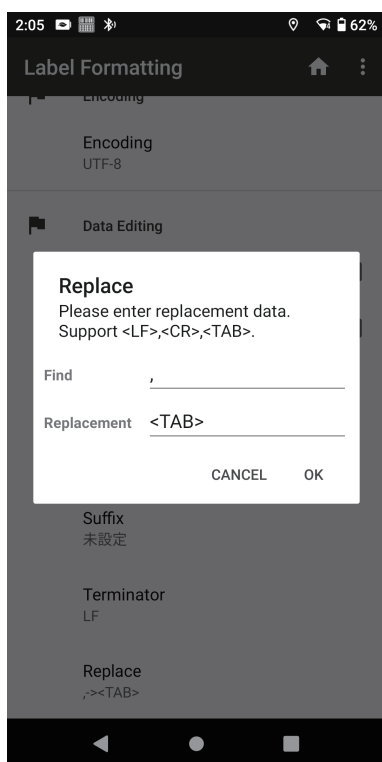
## ■ Replace

「Use Formatting」機能を有効にしなくても、スキャンしたバーコードデータの特定の文字(列)を、任意の文字(列)に置き換えて送信することができます。たとえば、QRコード内に複数のカンマが存在し、そのカンマをすべてTABに変換して送信する場合は、「Find= ,」 「Replacement= <TAB>」と入力します。



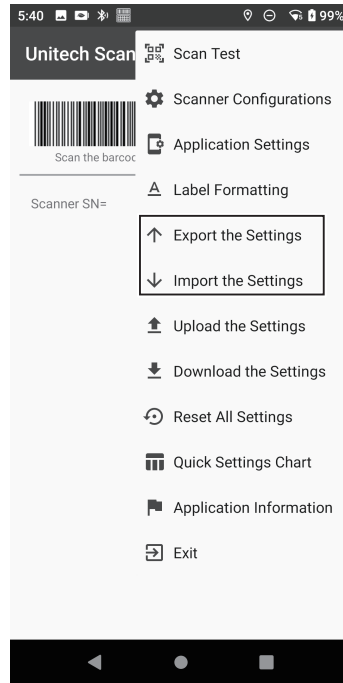
123,234,345,456

- 出力文字列 : 123{TAB}234{TAB}345{TAB}456



## 第9章 Export/Import the Settings

USU は、☰ → 「↑ Export the Settings」 をタップして、「Scanner Configurations」と「Application Settings」の設定内容をエクスポートするか、☰ → 「↓ Import the Settings」 をタップして設定ファイルをインポートすることができます。



「Scanner Configurations」と「Application Settings」の設定内容は、conf ファイルとしてエクスポートできます。このファイルは、管理者用 PC や他の Android 端末に保存して、再び Unitech Scanner Utility にインポートすることができます。

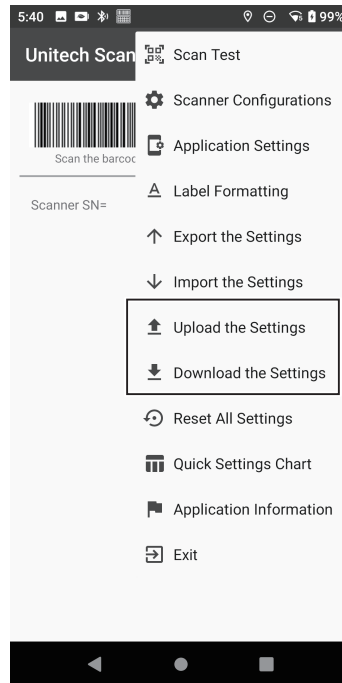
エクスポートされたファイルは、次のパスに保存されます。

- ルートストレージ/Unitech/USU/USU.conf

「Scanner Configurations」は、「Import the Settings」後、Unitech Scanner Utility のみに適用されますのでご注意ください。インポートした設定を接続されたスキャナに適用するために「Upload the Settings」を行う必要があります。

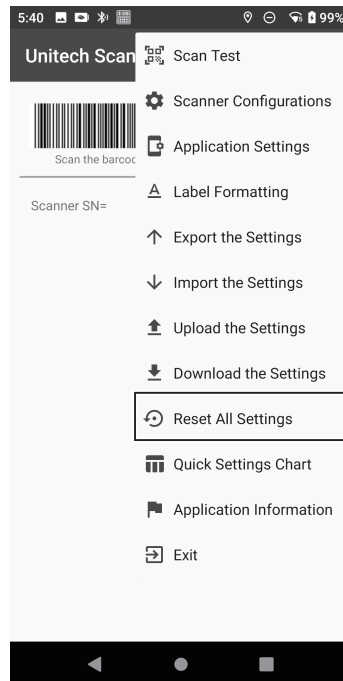
## 第 10 章 Upload/Download the Settings

ユーザーは、☰ → 「↓ Download the Settings」を使用して、接続されたスキャナの現在の「Scanner Configurations」を Unitech Scanner Utility にダウンロードして取り込むことができます。また、☰ → 「↑ Upload the Settings」を使用して、Unitech Scanner Utility の現在の「Scanner Configurations」を接続されたスキャナにアップロードしスキャナの設定情報を更新することができます。



## 第 11 章 Reset All Settings

ユーザーは、☰ → 「🔄 Reset All Settings」を使用して、Unitech Scanner Utility で行ったすべての変更を消去し、すべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



## 第 12 章 Quick Settings Chart

⋮ → 「☰ Quick Setting Chart」では、USU の使用をサポートするのに便利な一般的な設定バーコードを使ってスキャナーの設定を変更することができます。



設定バーコードを使用するには、設定バーコードが表示されているページに行き、バーコードをスキャンするだけでスキャナーの設定を変更することができます。

### 12.1 Scanner Type

Unitech Scanner Uility を使用するには「BT SPP」バーコードをスキャンして、スキャナーの動作モードを変更する必要があります。

## 12.2 Un-Pair

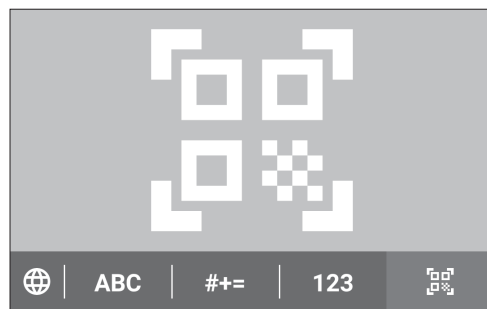
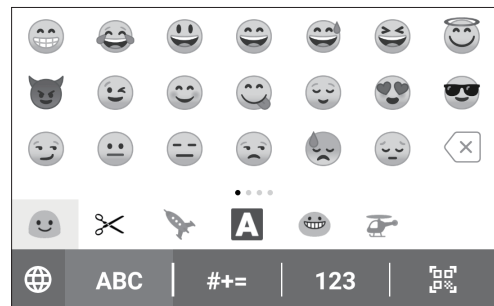
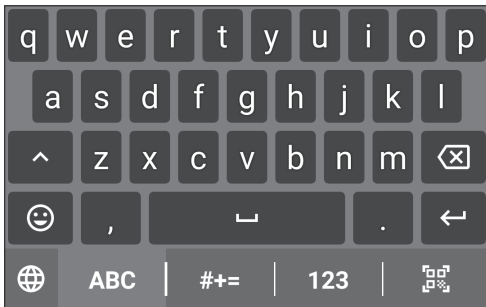
「BT/BLE Un-Pair/Pair」バーコードをスキャンして、Unitech Scanner Utility と接続しているスキャナを切断することができます。

## 12.3 Factory Default

「Factory Default」バーコードをスキャンして、スキャナのすべての設定を工場出荷時の状態にリセットしたり、接続されているスキャナと Unitech Scanner Utility との接続を解除することができます。

# 第 13 章 Unitech SU Keyboard

Unitech SU Keyboard は、USU の様々なキーボード機能を強化するエンタープライズキーボードです。また、UTF8、BIG5、GBK、Shift\_JIS でエンコードされたダブルバイト文字の出力にも対応しています。

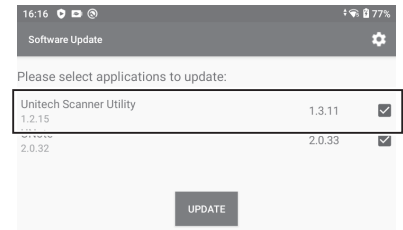
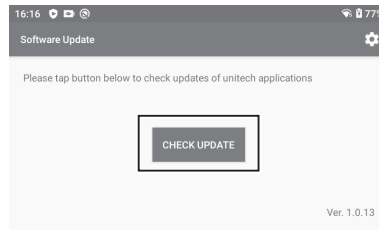
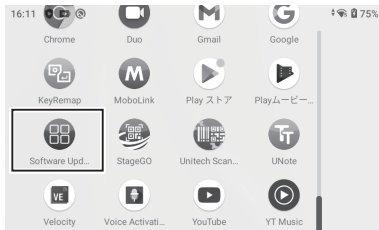


SUKeyboard が OS に組み込まれている一部のユニテック製 Android デバイス（WD200 など）では、SU Keyboard がデフォルトの仮想キーボードとして設定されていない場合があります。

## 第 14 章 WD200 での初期設定

### 14.1 Unitech Scanner Utility の更新

最初に、Unitech Scanner Utility を更新してください。WD200 をインターネットに接続し、「Software Update」を開いて、「CHECK UPDATE」を行います。最新版が見つかったら「UPDATE」を行います。



### 14.2 Unitech SU Keyboard を有効化

[設定] → [システム] → [言語と入力] → [仮想キーボード] → [+ キーボードを管理] → [Unitech SU Keyboard] のスイッチをオンにします。



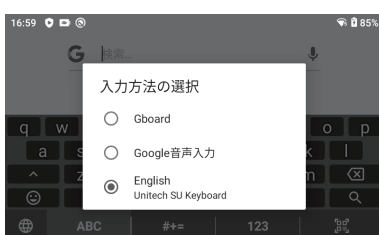
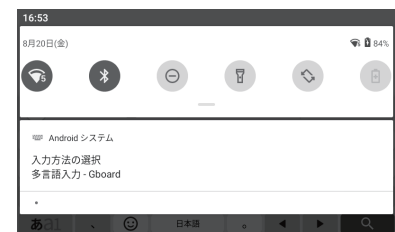
### 14.3 Unitech SU Keyboard をデフォルトにセット

手順 1 適当なテキストフィールドにフォーカスして仮想キーボードを画面に表示させます。

手順 2 ステータスバーを下向きにドラッグします。

手順 3 通知パネル内の「入力方法の選択」をタップします。

手順 4 [Unitech SU Keyboard] を選択します。



# unitech

because we care

---

**ユニテック・ジャパン株式会社**

〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 8F

<https://www.ute.com/jp>

